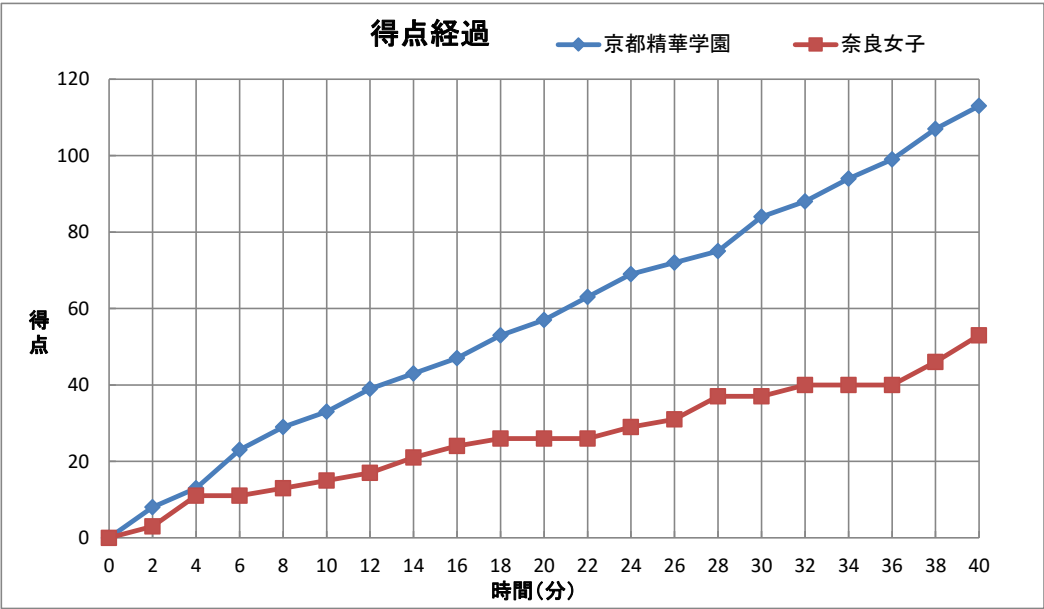




第35回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女 子							令和7年2月15日 15:50 開始						
2 回戦							和歌山ビックホエール A						
◎ 京都精華学園 113 (京都)							53 奈良女子 (奈良)						
331st15 242nd11 273rd11 294th16													
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
4	坂口 美果	10	0	5	0	0	* 4	大西 花歩	8	2	1	0	1
5	金谷 悠加	4	0	1	2	0	* 5	西田 璃音	15	0	7	1	4
* 6	石渡 セリーナ	5	0	2	1	0	6	谷口 未桜	0	0	0	0	1
7	太田 楓	0	0	0	0	0	* 7	松村 桃夏	13	1	5	0	2
8	十倉 陽美	4	0	2	0	0	8	横山 杏奈	0	0	0	0	0
9	高山 留里那	11	1	4	0	1	* 9	鶴田 真菜	9	3	0	0	1
10	田中 鈴音	4	0	2	0	1	10	福田 怜香	0	0	0	0	0
11	速水 純里	7	0	2	3	0	11	大杉 心桃	0	0	0	0	0
12	河合 美蒼	0	0	0	0	0	* 12	高田 爽空	3	1	0	0	0
* 13	吉田 ひかり	10	0	5	0	0	13	高崎 心来	5	0	2	1	1
* 14	石井 日菜	0	0	0	0	0	14	西川 カレン	0	0	0	0	0
* 15	ンガルラ ムクナ リヤ	34	0	16	2	0	15	星野 あねら	0	0	0	0	0
* 16	満生 小珀	11	0	4	3	0	0		0	0	0	0	0
17	堀 心優	7	0	3	1	0	0		0	0	0	0	0
18	フェリックス ナグマ クララ	6	0	3	0	1	0		0	0	0	0	0
コーチ	山本 綱義						コーチ	庄野 拓					
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	小西 祥子					
合 計		113	1	49	12	3	合 計		53	7	15	2	10
クルーチーフ: 花 谷 槇 子													
アンパイア: 松 井 悠 美							2ndアンパイア: 増 田 知 真						



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	5:43	15:22	21:57	32:40	35:41	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

〔第1Q〕

京都精華#6#13#14#15#16、奈良女子#4#5#7#9#12でお互いマンツーマンでトスアップ。開始早々、京都精華#15のリング下での連続得点が決まる。一方、奈良女子は#12、#9の3Pシュートが決まり、12対11の1点差で付いていく。しかし、徐々に京都精華の1対1のディフェンスに奈良女子は攻めきれず、速攻からの内外角のシュートを決められ、33対15で第1Q終了。

〔第2Q〕

奈良女子は、5人がスペースを作りながらオフェンスを試み、京都精華の高さにスピードで挑む。#9、#7のリバウンドシュートで加点するが、なかなか連続得点が決まらない。一方、京都精華は#15、#18の力強いリング下に加え、ハイローや堅守からの速攻が随所に見られ、57対26として前半終了。

〔第3Q〕

奈良女子は、京都精華がリング下のシュートミスをしてもしリバウンドが取れず、逆にターンオーバーが出てしまい、残り8分3秒タイムアウトを取る。その後、#7のジャンプシュート、#5がカッティングからのリング下、#4、#7の連続3Pシュートが決まる。しかし、京都精華は選手層の厚さを活かしながら落ち着いたプレイを心掛け84対37で第4Qへ。

〔第4Q〕

奈良女子は、終始モーションオフェンスを展開し、ズレを作って#5のドライブインから合わせ、1対1のリング下シュートと巧みなプレイが連続しておこるが、シュートが入らない。京都精華は#15#18がベンチに下がっても平面でのディフェンスは強固で、逆に速攻を連続して決める。最後まで攻め続ける奈良女子は#13のバスケットカウントやジャンプシュートを決めるが、チーム力に勝る京都精華が113対53で準決勝に進出した。

戦評: 北川 弘幸 記録: 耐久